

# 事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課	■担当係	健康係
■評価事業名称	健康診査実施事業(後期高齢者分)		
■事業開始年度	平成20年度		
■評価事業コード	040200 - 094	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり	
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実	
	■施策	02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	高齢者の医療の確保に関する法律		
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	後期高齢者医療制度の加入者に対して、健康診査を行うことにより、健康を保持することを目的とする。後期高齢者医療制度加入者に対して、特定健診と同じ内容の検査項目(ただし、基本項目のみで腹囲を除く)で、健康診査を実施する。		

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	健康診査実施事業(後期高齢者分)	後期高齢者医療制度の加入者	後期高齢者医療制度の加入者に健康診査を集団健診及び市内31ヵ所の医療機関で実施する。	【健康診査】対象者13,021人受診者2,822人受診率21.7%集団健診67日間実施、個別健診30医療機関実施。【後期高齢者歯科健診】県歯科医師会委託事業(対象者988人 受診者275人受診率27.9%)

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	20,133	19,726	19,284	19,768	
人件費	2,478	2,375	2,313	2,765	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	22,611	22,101	21,597	22,533	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	年間健診(集団健診)日数	66日	67日	67日	67日	特定健診の日程と同じ。
02	個別健診実施医療機関数	33機関	32機関	31機関	30機関	特定健診実施医療機関と同じ。
03	健診の受診率	24.1%	23.2%	22.1%	21.7%	受診者÷後期高齢者医療制度加入者数

# 事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

06	コスト	7.6千円	7.6千円	7.6千円	8千円	フルコスト÷受診者数
----	-----	-------	-------	-------	-----	------------

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

受診者数、受診率とも低下傾向。

### 問題点・課題等

通知書発送作業(封入封緘)の負担が大きい。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

### 4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

### 6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

封入封緘作業を外部委託できれば負担が軽減できる。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了